

2017年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2016年10月19日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告 2

2017年2月期 第2四半期決算概況 3

2017年2月期 通期業績見通し 13

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 25



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2017年2月期 第2四半期決算概況
2017年2月期 通期業績見通し



● 上期の振り返り

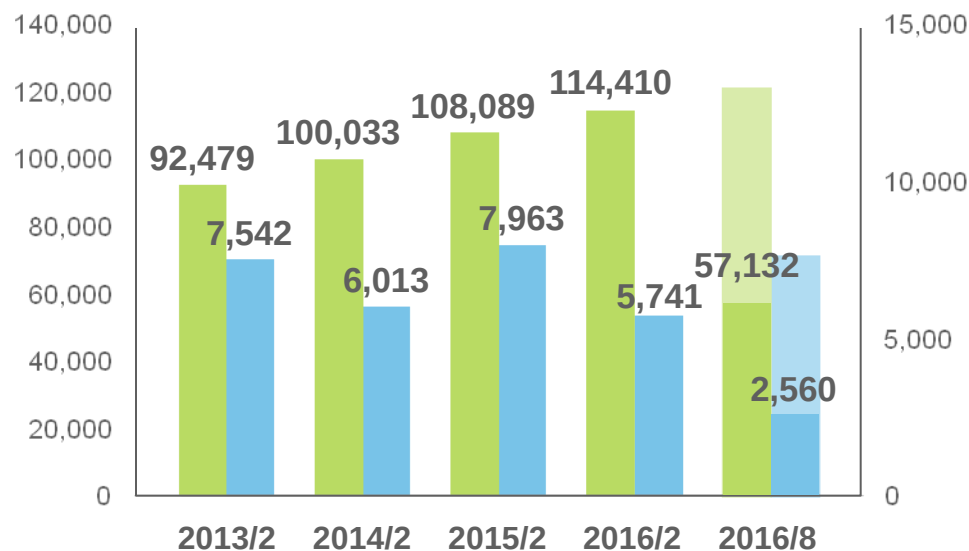
売上高・・・個人消費全般が冷え込む中、雑貨業態での健闘が見られたものの、衣料に対する消費が弱く、また、出店も抑制的であったことから、弱含みで推移した。

利益・・・MD改革による4週MDについては定着し、昨年より在庫の型数・数量ともにコントロールを効かせ、在庫ロスは減少してきたが、トップラインの弱さに引きずられるかたちで、計画未達となった。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

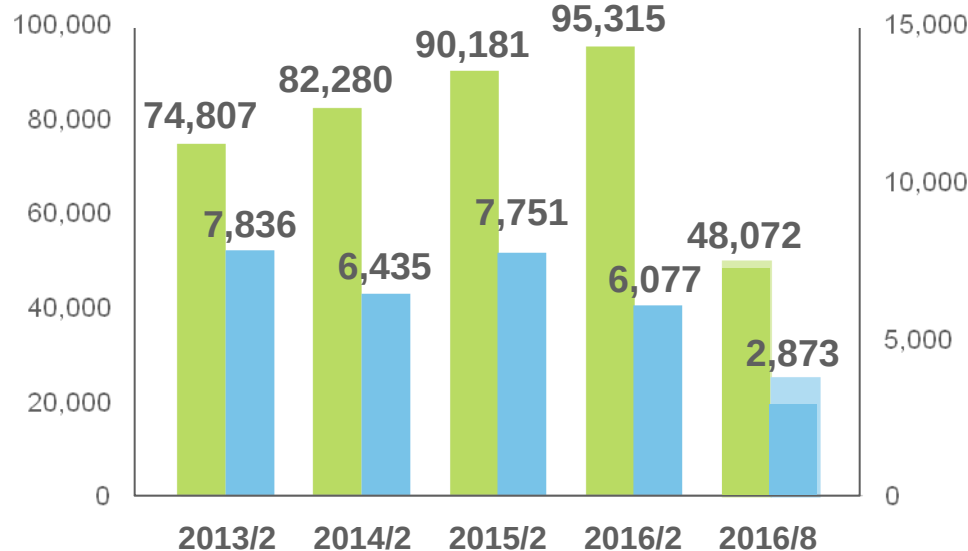
単位:百万円



単体

■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



2017年2月期 第2四半期連結損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期			
		公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	55,863	58,650	57,132	102.6%	97.4%
売上総利益	31,173	33,162	32,000	102.7%	96.5%
（売上比）	56.0%	56.5%	56.0%	—	—
営業利益	3,246	3,730	2,617	80.6%	70.2%
（売上比）	5.8%	6.4%	4.6%	—	—
経常利益	3,209	3,590	2,560	79.8%	71.3%
（売上比）	5.8%	6.1%	4.5%	—	—
当期純利益	1,893	2,030	1,321	69.8%	65.1%
（売上比）	3.4%	3.5%	2.3%	—	—

- 売上向上策として、価格選好の強くなったマーケットに対応するため、価格戦略商品の投入を図っているが、一部のブランドを除き店頭投入はAWからになるため、回復が遅れている。グループ会社全般の不振により、売上・利益ともに未達となった。
- 型数・発注数量のコントロールが効くようになり、衣料での在庫は前年比でマイナスで推移第1四半期を底に粗利率は改善。

2017年2月期 第2四半期単体損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期			
		公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	46,382	48,700	48,072	103.6%	98.7%
売上総利益	26,334	27,857	27,167	103.2%	97.5%
(売上比)	56.8%	57.2%	56.5%	—	—
営業利益	3,364	3,654	2,928	87.0%	80.1%
(売上比)	7.3%	7.5%	6.1%	—	—
経常利益	3,343	3,530	2,873	86.0%	81.4%
(売上比)	7.2%	7.2%	6.0%	—	—
当期純利益	1,707	2,100	1,685	98.7%	80.2%
(売上比)	3.9%	4.3%	3.5%	—	—

- 現在、生産プラットフォーム化を推進して型数の絞込みとロットの集約による調達先の集約を図っているが、店頭への供給はAWからとなるため、利益寄与は第3四半期以降にずれ込む。値入率は3ポイント程度改善の見通し。
- 低価格のベーシック商品を投入し、価格選好の強まったマーケットに対応しているが、一部のブランドを除き店頭投入がAWにずれ込んだため、売上の回復がおくれた。
円高基調による為替の影響により、特に雑貨業態での利益に貢献。

単位:百万円

	2015年7月期 実績	2016年7月期 実績	前年比
売上高	4,702	4,409	93.8%
営業利益	96	60	62.5%
経常利益	108	70	64.8%
当期純利益	50	57	114.0%

- プロパーブランドはほぼ計画ラインだったが、アウトレット業態が不振で、売上・粗利率とも苦戦をしたため、全体としては減収減益となった

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

		2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期	前年同期比
衣料				
	売上高	42,119	41,192	97.8%
	構成比	75.6%	72.1%	
	営業利益	2,568	1,297	50.5%
	営業利益率	6.1%	3.1%	
雑貨				
	売上高	13,497	15,867	117.6%
	構成比	24.2%	27.6%	
	営業利益	659	1,305	198.0%
	営業利益率	4.9%	8.2%	
その他				
	売上高	66	72	109.0%
		2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高				
	ZOZO TOWN	1,114	1,597	143.4%
	自社PALCLOSET	540	597	110.6%
	その他	864	869	100.6%
	合計	2,518	3,063	121.6%
	対衣料売上高比率	6.0%	7.4%	1.4P

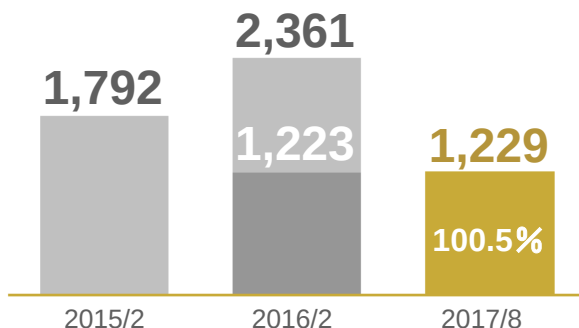
- 雑貨業態、特に3コインズは順調に業容を拡大。円高基調もあり利益率も大幅改善。EC売上は、期初から好調に推移し、前年比21.6%増加。

主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

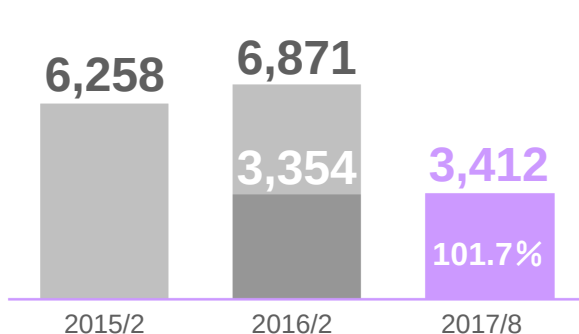
カスタネ

店舗数 17店舗



売上高

単位:百万円



russet

Having existed for long time is splendid. (長い間存在していたものはすばらしい)
何年経っても色褪せない、使い込むほどにその人に馴染んでいく、かけがえのない永遠の存在となりえる究極の定番に、時代の艶感をそえて懐かしくもぬくもりのある商品を提案します。

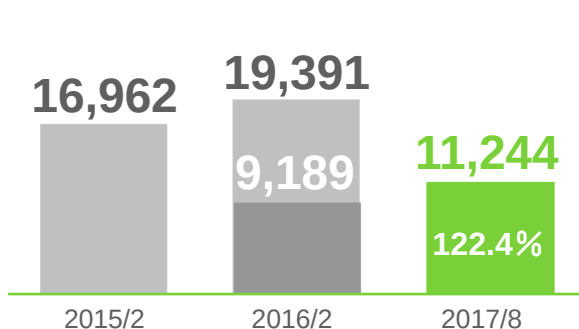
ラシット

店舗数 55店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE 3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝いする雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・アクセサリーなどの商品を、ベーシックなものから楽しくなるようなカラフルな色使いのものまで、300円を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 167店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

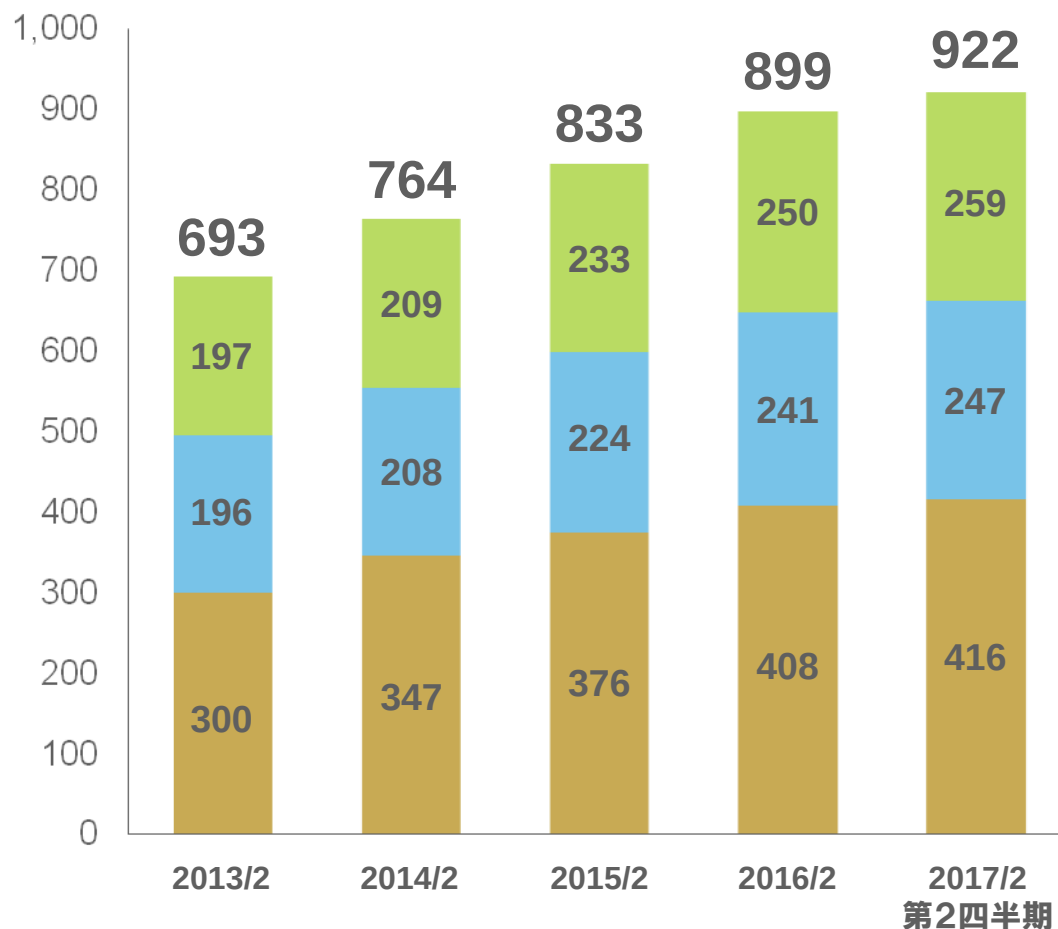
単位:百万円

	2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期	前年同期比
単体	22,970	24,239	105.5%
連結	27,927	29,383	105.2%
販管费率(連結ベース)	50.2%	51.4%	1.2P
人件费率	18.7%	19.5%	0.8P
賃料费率	17.0%	17.4%	0.4P
広告宣伝费率	1.0%	0.4%	△0.6P

- 人件费率が0.8ポイント増加し、賃料比率が0.4ポイント増加したことを主因に、販管费率は1.2ポイント増加した。ただし、広告宣伝費は紙媒体を中心に抑制的に運用し、0.6ポイント減少している。
- 売上が弱かったこともあり販管费率が増加したが、期中より新規出店は抑えており、下期にかけてさらに販管費抑制の方針。

第2四半期末店舗数922店舗 (前期末比+23店)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

新規出店が42店、退店が19店で、
前期末比23店舗の純増となった
(別途、業態変更2店舗)

● 各ブランドの出店状況

出店が多かったのは、3 Coins 5店舗
ディスコートパリシアン4店舗、チャオパ
ニックティピー3店舗など。

● 全般に出店に関しては 抑制的であった。

特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期
関係会社株式売却益	—	—
固定資産売却益	—	—
負ののれん発生益	507	—
その他	—	—
特別利益合計	507	—
固定資産除却損	190	95
リース契約解約損	—	—
貸倒引当金繰入額	—	—
減損損失	267	163
関係会社株式評価損	—	—
投資有価証券評価損	—	—
災害義捐金等	—	—
災害による損失	—	—
資産除去債務会計基準に伴う影響額	—	—
その他	7	—
特別損失合計	464	258

- スクラップアンドビルドの推進により特別損失を258百万円計上

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期	2017年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	50,675	50,537	△138	
現金及び預金	35,174	34,552	△622	
売掛金	5,138	6,111	973	
たな卸資産	9,149	8,870	△279	
その他	1,214	1,003	△211	
固定資産	26,242	26,417	175	
有形固定資産	10,493	10,622	129	
無形固定資産	315	429	114	
投資その他の資産	15,434	15,365	△69	
資産合計	76,918	76,954	36	
流動負債	27,463	28,038	575	
固定負債	13,401	13,167	△234	
負債合計	40,865	41,205	340	
純資産合計	36,053	35,749	△304	
負債資本合計	76,918	76,954	36	

- 在庫コントロールを効かせた結果、たな卸資産残高は抑制的に推移した

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2016年2月期 第2四半期	2017年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,921	1,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△945	△906
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,961	△1,551
現金及び現金同等物の増加（減少）額	△7,828	△622
現金及び現金同等物の期首残高	43,503	35,174
現金及び現金同等物の期末残高	35,675	34,552

2017年2月期 連結・単体通期業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

1. 連結

	2016年2月期	2017年上期実績	2017年下期	2017年2月期	前期比
売上高	114,410	57,132	64,358	121,490	6.2%
売上総利益	62,852	32,000	36,718	68,718	9.3%
販売管理費	57,024	29,383	31,395	60,778	6.6%
営業利益	5,828	2,617	5,323	7,940	36.2%
経常利益	5,741	2,560	5,090	7,650	33.3%
特別損益	816	△268	△372	△630	—
当期純利益	3,288	1,321	3,099	4,420	34.5%

粗利 54.9%

粗利 56.6%

- 既にお知らせの通り、上期実績において当期純利益は従来予想比△34.9%と差異が発生しておりますが、今後の業績動向を勘案し、通期の業績予想は修正をしております。
- 生産プラットフォームによるベーシック商品の調達先・型数の集約と、4週間MDの定着による仕入れ数量のコントロールにより、粗利率は改善見通し。値入率3%程度改善見込む。
- 価格戦略商品がAWより店頭投入できるため、売上回復を見込む。
- 円高基調が続く為替の影響がプラスに働き、引き続き雑貨業態主体に利益改善を見込む。

2. 単体

	2016年2月期	2017年上期実績	2017年下期	2017年2月期	前期比
売上高	95,315	48,072	1,948	50,020	52.5%
売上総利益	53,084	27,167	1,893	29,060	54.7%
販売管理費	46,947	24,239	991	25,230	53.7%
営業利益	6,137	2,928	902	3,830	62.4%
経常利益	6,077	2,873	897	3,770	62.0%
特別損益	652	△228	0	△228	—
当期純利益	3,342	1,625	625	2,250	67.3%

粗利 55.7%

- 本年9月1日より持株会社へ移行したため、従来の(株)パルの上期実績と、下期については(株)パルグループホールディングスの業績予想に修正し、通期予想はその合計数値を記載しております。

2017年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

()内、現時点の確定数

	2016年2月期	2017年8月末	2017年2月期 期末予想
新規店舗数	103	42	53(48)
連結子会社での増加店舗数	24	9	13(13)
退店店舗数	61	19	28(28)
店舗数純増	66	23	38(33)
会計年度末の店舗数	899	922	937(932)

2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)

	2016年2月期	2017年2月期 上期累計実績	2017年2月期 下期累計見通し	2017年2月期
既存店売上推移	96.9	94.8	100.0	100.0
うち小売既存店売上高	96.9	92.7	100.0	100.0
うちネット通販既存店売上高	—	118.7	100.0	100.0

	2016年3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存店売上推移	94.3	98.7	94.3	93.5	97.0	91.1
うち小売既存店売上高	92.8	94.8	91.5	92.4	94.9	89.4
うちネット通販既存店売上高	112.3	117.3	140.2	109.4	116.8	119.2

3. 全店売上の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	103.9	106.7	103.6	101.5	105.5	100.2	103.6
うちEC	129.1	132.2	147.6	115.4	133.2	127.0	130.2

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比(第二四半期累計)	客数前年度比(第二四半期累計)
衣料事業	99.3%	89.6%
雑貨事業	101.1%	100.6%
全体	93.9%	98.6%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

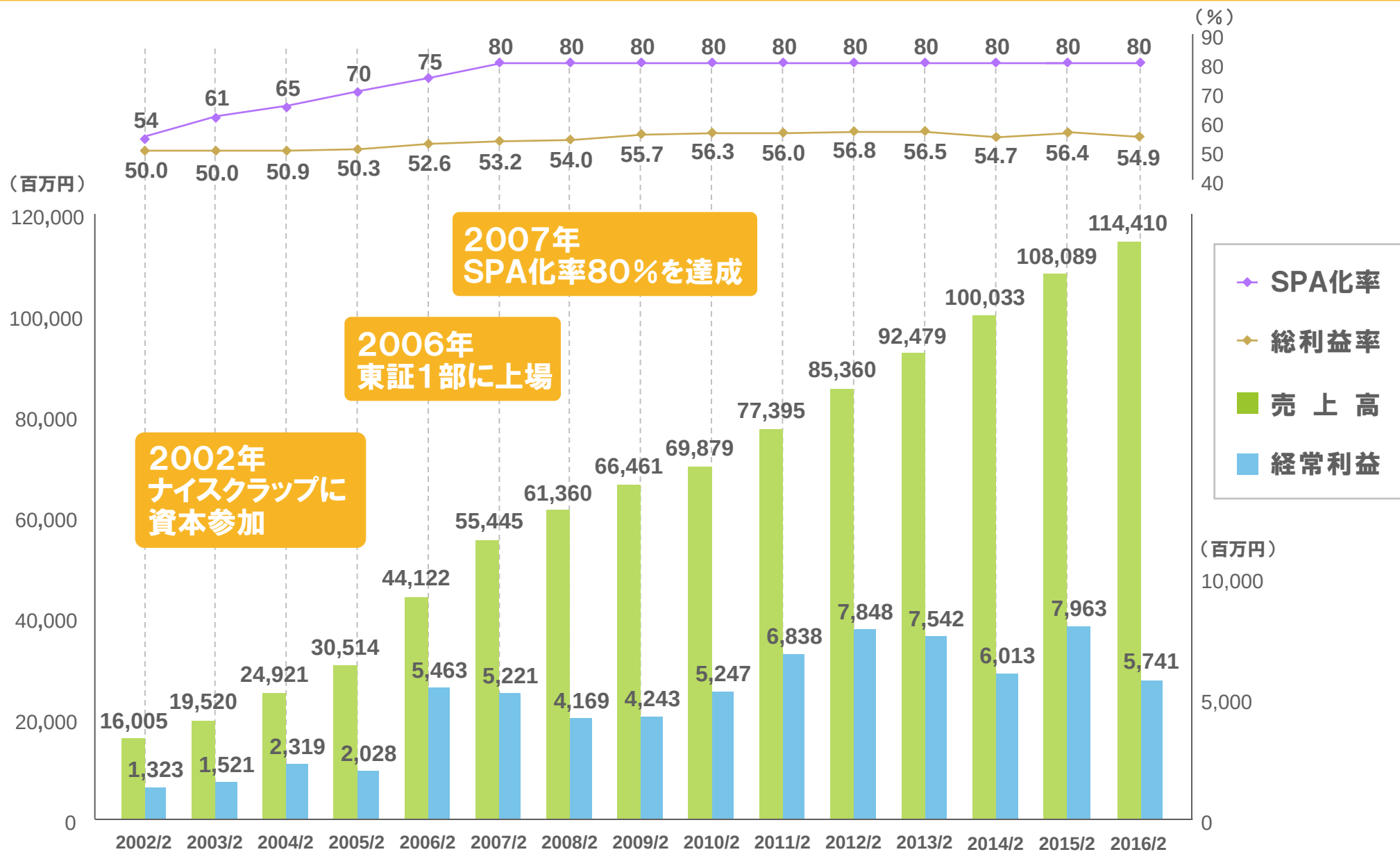
経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン



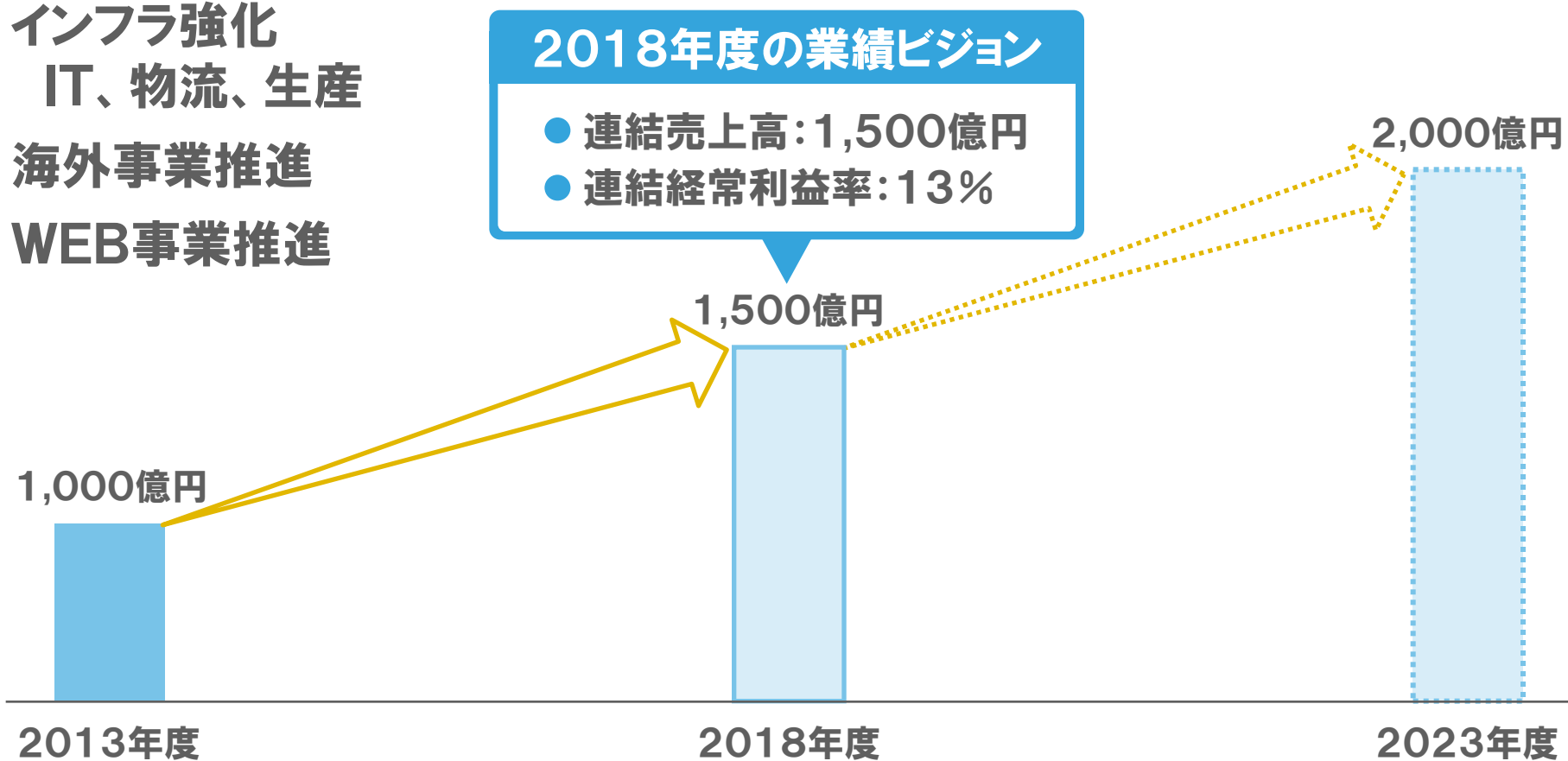
業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化
IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

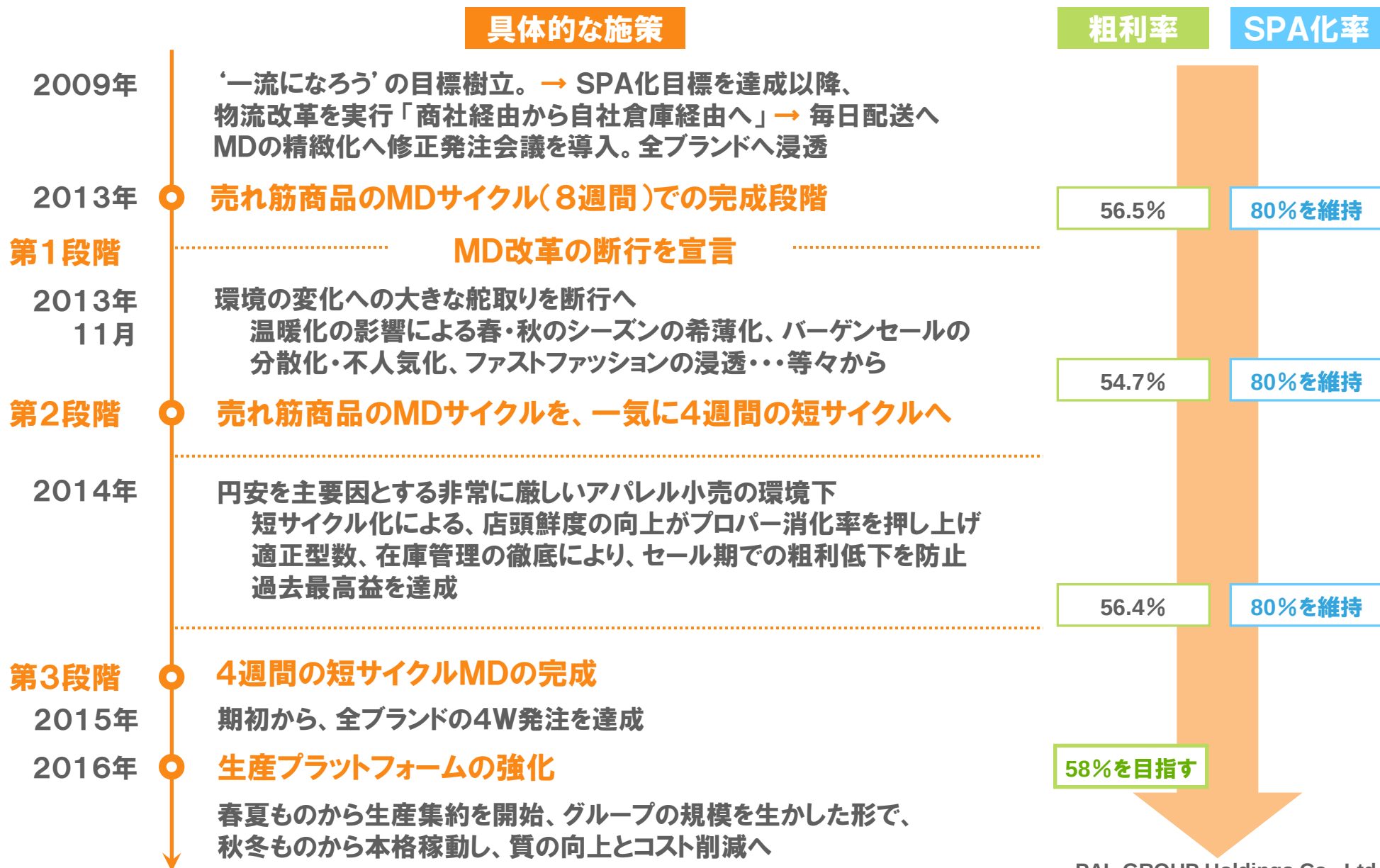
トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. 3 Coins 中国初出店
3. EC販売強化
 - 3-①. ECの強化
 - 3-②. オムニチャネル対応



1. MD改革の進捗状況

PAL GROUP HOLDINGS



2. 3COINS中国初出店

3COINS

上海METRO city店の概要

中国現地法人 帕璐（上海）商貿有限公司
（PAL（Shanghai）Trading Co., Ltd.）によって、
中国上海市に3COINSが初出店いたしました。



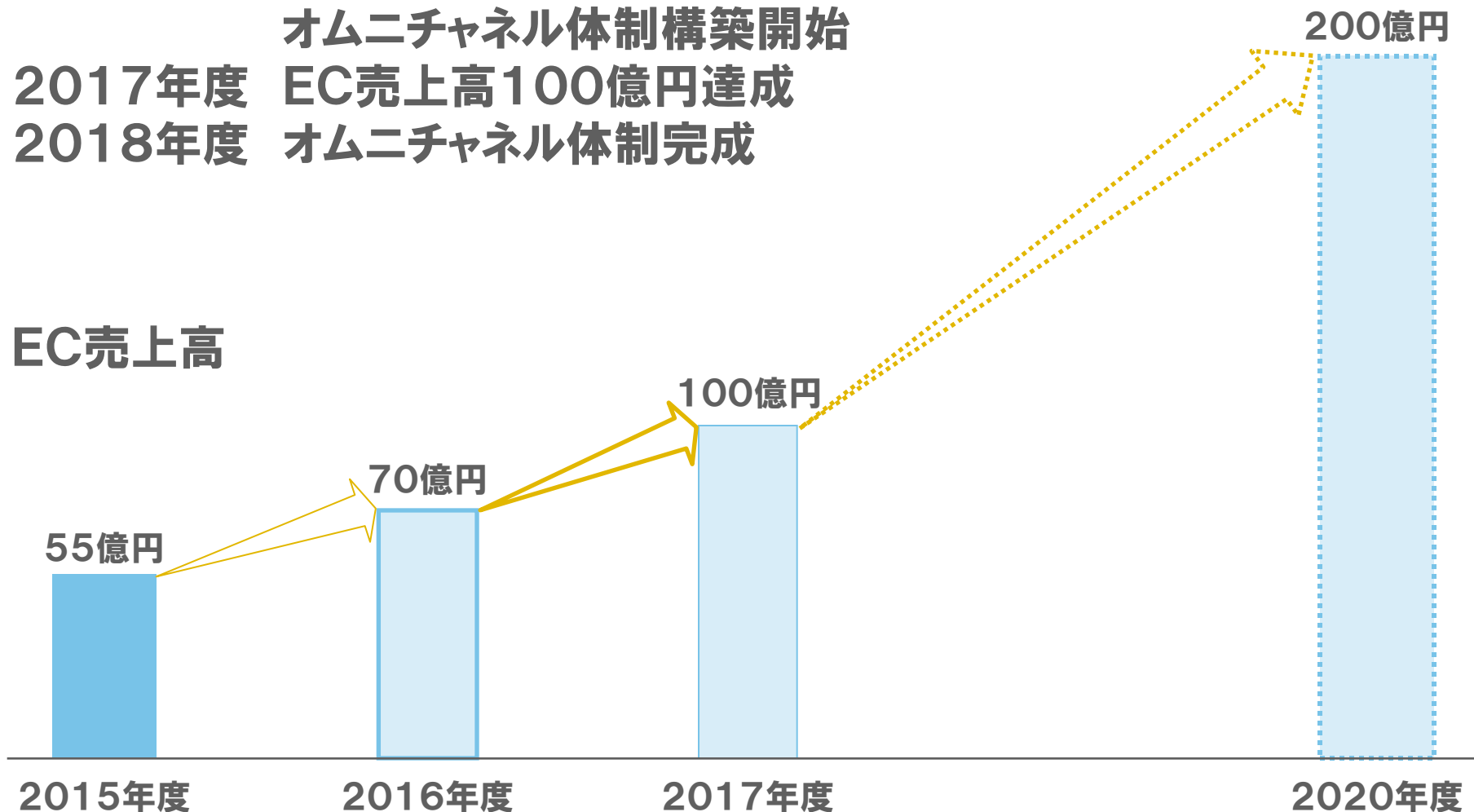
店 舗 名	3COINS 上海METRO city店
開 店 日	平成28年10月15日(土)
住 所	上海市徐匯区肇嘉浜路1111号 美羅城3階A区3-1C/D
今 後 の 事 業 計 画	今後、中国国内に2号店を出店後、FC事業を開始する予定です。

3. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制完成

● EC売上高

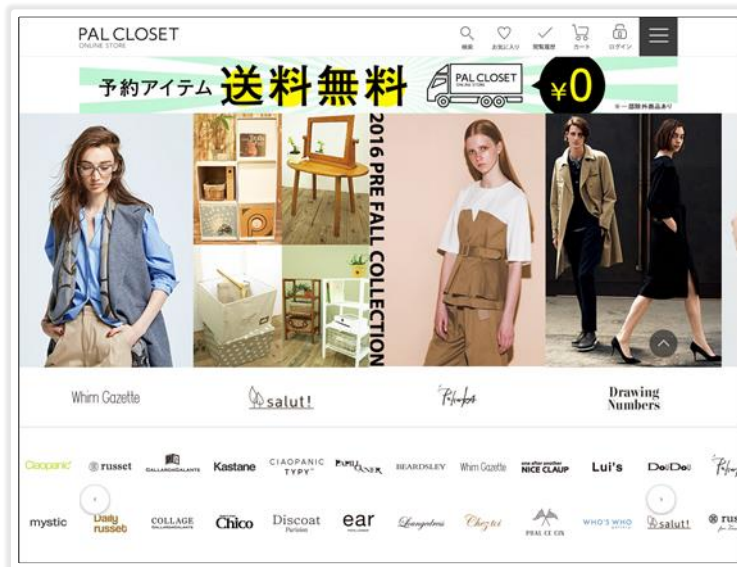


3-① . EC販売強化

PAL GROUP HOLDINGS

戦略重点ポイント

● 予約販売



● EC限定商品



● SNSプロモーション



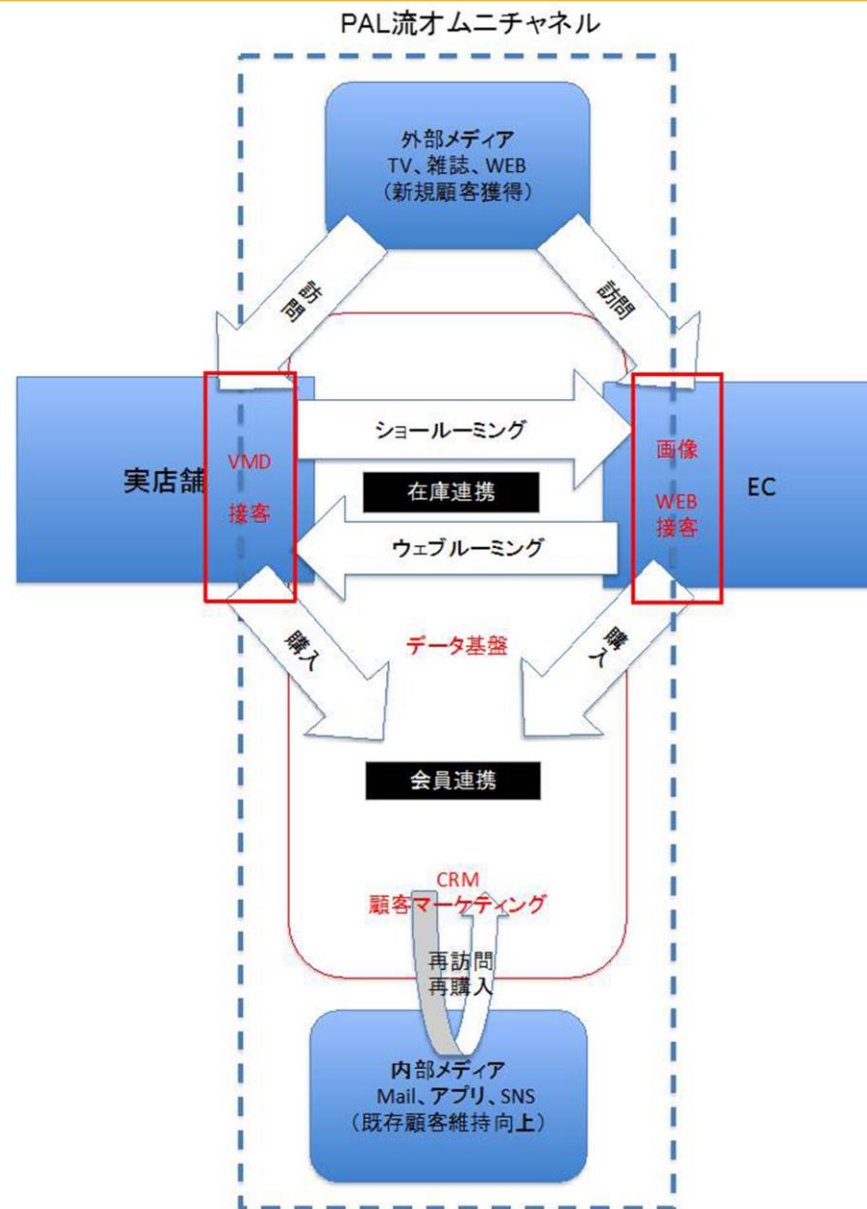
Instagram
WEAR、BLOG、
Twitter、
FACEBOOK

3-② . オムニチャネル対応

戦略指針

2018年までに、実店舗とECを連携させ、相互に成果を還元する『PAL流オムニチャネル』体制を完成させる。

ブランド、店舗（実店舗・EC）、顧客マーケティングを磨き、2020年EC売上高200億円突破を成果目標とする。



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

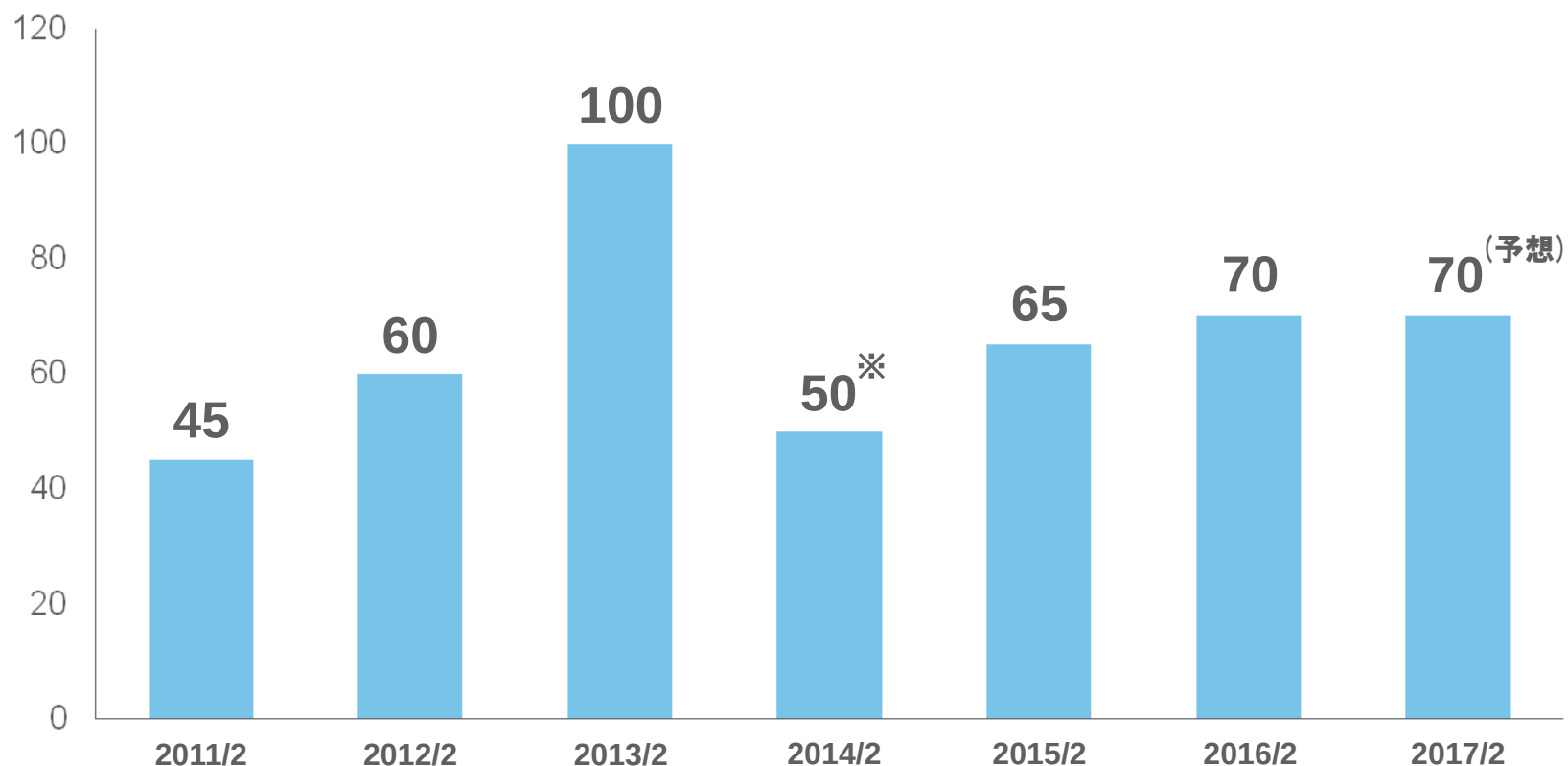
株主様への対応

株主還元(配当について)
株主優待制度について
CSRへの取り組み



1. 株主還元策

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、70円を予定(前期比増減無し)



※2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済み

2. 株主優待制度の新規導入

『パルグループ全体の販売を促進する内容』で、導入を決定

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を導入いたしました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の3つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引

● 優待券の付与枚数

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



3. 当社のCSRへの取り組みについて

(1) 当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR (Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わることを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることを考えています。

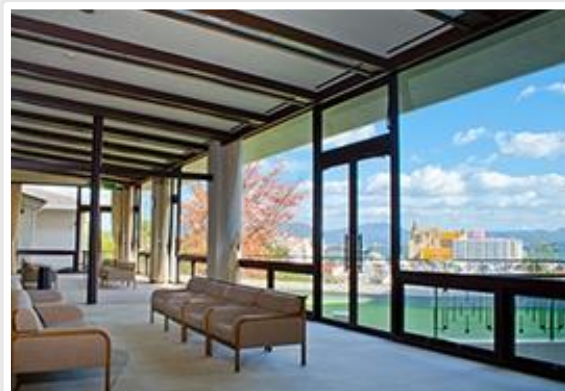


3. 当社のCSRへの取組みについて

(2) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

3. 当社のCSRへの取り組みについて

PAL GROUP HOLDINGS

(3) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は、社会貢献の一環として、創業一族である井上ファミリーと共に、『一般財団法人パル井上財団』を設立し、公益財団として内閣府より認可を受けております。将来、ファッション産業や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。40名を超える、全国の総合大学及び、服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に、奨学金を給付していく事業を、開始致しました。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル井上財団

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名 株式会社 パルグループホールディングス

所 在 地 【本社所在地】 大阪府大阪市中央区北浜3-5-29 日生淀屋橋ビル4F
【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F

代 表 者 井上 隆太

資 本 金 31億8,120万円

設 立 1973年10月

事業内容 婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売

従業員数 グループ合計2,842名 （2016年2月末現在）

店 舗 数 922店舗 （2016年8月末現在）

経営企画室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。